

令和3年9月10日

保健福祉部

認知症とともに生きる時代が来ています  
～9月は世界アルツハイマー月間です～

## 概要

9月は世界アルツハイマー月間、9月21日は世界アルツハイマーデーです。市民の皆さんへ認知症について知ってもらうためのPR活動を行います。

### 1 オレンジ・ライトアップ

次の施設を、認知症を支援するシンボルカラーのオレンジ色にライトアップします。

#### (1) 点灯期間

9月17日（金）から9月24日（金）まで

※悪天候の日は、ライトアップを中止する場合があります。

#### (2) 施設と点灯時間

① 旧唐津銀行 日没から午後10時まで

② 近代図書館 午後7時から翌日の午前1時まで

※9月14日（火）から9月30日（木）までの間、認知症関連書籍の特設コーナーも設置します。

### 2 グッズとリーフレットの配布（先着100人）

#### (1) 実施日

9月21日（火）午前10時から（グッズがなくなり次第終了）

#### (2) 場所

本庁舎1階 玄関ロビー

（本件の問い合わせ先）

保健福祉部 地域包括支援課

担当：古里、宮本

電話：直通72-9191（内線2218）



# 認知症とともに生きる時代が来ています

## だれでも 受け入れるのは 難しい

自分が認知症となった時、それを受け入れることは簡単ではありません。今後の生活や、経済的な不安、家族に対する思いなど心配は尽きません。

しかし最初はショックでも、気持ちに折り合いをつけて、前向きに自分らしく暮らしている多くの認知症の人と家族がいます。



家族も大切な人が苦しむ姿に、いたたまれなさや、悲しみを感じています。また、自分の体調や、生活への不安も感じています。

それでも、家族だけで抱え込まずに周りの人に話したり、制度や社会資源を利用することで、住み慣れた街で生活を続けています。

様々な原因でおこる認知症を「完治」させる薬はまだありませんが、新薬の開発は日進月歩で進んでいます。また、各地で認知症を理解し、ともに生きる街づくりも進んでいます。

認知症を「予防する・治す」ことだけに注目せずに、適切な医療やケア、周囲の理解で「病気とうまくつきあう」ことも可能です。認知症になっても、介護する側になっても、だれもが笑顔で過ごせる街にしましょう。



## 認知症と診断されても

## 認知症と ともに 生きるための 8か条

1

認知症の  
診断で人生は  
終わらない

2

認知症の  
正しい情報を  
得よう

3

制度を知り  
活用しよう

4

家族だけで  
抱え込まないで

5

仲間と  
支援者を  
探そう

6

職場の上司や  
親せきなどに  
病名を伝えよう

7

社会や地域と  
つながろう

8

家族で  
話し合っ  
ておきましょう



## アメリカで アルツハイマー病の 新薬承認！

2021年6月にアメリカでアルツハイマー病の原因物質を取り除く新薬が承認されました。日本ではまだ使えませんが、特に初期の人に効果が期待されています。「家族の会」では会報やウェブ・SNSで最新情報を発信しています。

「家族の会」ではウェブ・SNSで情報を発信しています。▶▶▶

